



今回は、1 年 5 組のフィールドワークの報告をします。

◇ 私たち 1 班は関市役所商工課、ニッケン刃物（株）を訪問しました

研究テーマ：市外の人に関の刃物を知ってもらうには

日 時：2019 年 8 月 6 日(火) 10:00 ~ 15:00

訪問先：関市役所商工課、ニッケン刃物(株)

参加者：岩原良幸、大前絢菜、岡田静音、近藤慎之佑、田下想、長谷部祐輔、三輪勇貴

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



フィールドワークに行ってみて、関の刃物産業は時代に合わせて変化してきているが、このことを若い世代は知らないと感じました。実際、私たちは SGH で調べるまで関の刃物の歴史や課題を知らませんでした。つまり、そういった意欲が無ければ、刃物について知る機会がないということに気づきました。

刃物産業が衰退していった要因の一つは、若者の刃物への関心の低下、刃物を知る機会の減少だと思います。関の刃物をより有名にするには、まず若者世代に向けて刃物の魅力を発信していくことや、日本だけでなく海外の人々にも興味を持ってもらえるように発信する必要があると考えられます。



◇ 私たち 2 班はフェザーミュージアム 関鍛冶伝承館を訪問しました

研究テーマ：関市の特産物についてより多くの人に知ってもらい、若者を中心にして関市を盛りあげるため

日 時：2019 年 8 月 19 日(月) 13:00 ~ 16:00

訪問先：フェザーミュージアム・関鍛冶伝承館

参加者：市原 里彩・佐藤 朋香・西部 日菜・尾藤 楓斗・深見 龍生・古川 晴紀・山下 葵碧

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



フィールドワークに行ったことで、刀匠の苦しい現状を知った。刀匠は受注から発送まで一人で行うため収入が減ってしまう。さらに味が出るのは早くなく、一つ作るのに時間がかかる。

こうした課題の解決のために、まずは、多くの人に刃物を知ってもらいたい。QR コードを付けてその場ですぐに情報を得られるポスターの制作と、多くの人が参加する祭りに出店することで、より多くの人に知ってもらえる機会ができ、その場で体験できるようにして知名度を高めること、株式会社のようにすることで、資金が集まり、受注、発注による負担が減ることを提案した。





今回は、1年5組のフィールドワークの報告をします。

◇ 私たち 3 班は中濃病院を訪問しました

研究テーマ:小児がんについて

日 時: 2019 年 8 月 8 日(木) 14:00 ~ 16:00

訪問先: 中濃厚生病院

参加者:梅田陽菜子 上橋陸人 佐野光 鈴木萌恵 松田知士 早川幸来 山田蒼太

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



小児がんは血液の癌がほとんどだということや、治療法によって治る確率が違うということも知りました。また治療にかかる費用などは保険からでるということも知ることができました。中濃厚生病院でのフィールドワークを通して、同世代の子共たちが病気と戦っているの、少しでも力になれないかと思い、寄付を募ろうと思いました。

しかしレモネードスタンドを通じて、今の日本では小児がんに対する理解があまりないように感じました。こういった活動を通じて、より、国内でも理解が深まってくれたら幸いです。自分たちも、小児がんについて知る、よい機会になりました。



◇ 私たち 4 班は道の駅ラステン洞戸を訪問しました

研究テーマ: 関市で食べる 関市を食べる

日 時: 2019 年 8 月 6 日(火) 14:00 ~ 15:00

訪問先: 道の駅ラステンほらど

参加者: 桐山泰一 佐藤園子 鈴木梨乃 棚橋望 疋田野々香 舟井一稀 横山蒼

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



ラステン洞戸では、関市の特産品であるキウイを使った商品が多く売られていた。職員の方にキウイについて様々な質問をして、詳しく聞くことができた。その中でキウイには肉を柔らかくする効果があることが分かった。これらの得た情報をもとに、本当にキウイによって肉が柔らかくなるのかを確かめるために、私たちはお肉をキウイにつけて生姜焼きを作りました。

さらにほかのものと比較するために、肉を柔らかくする効果があると言われているリンゴにもつけて生姜焼きを作りました。臭みが強く硬いと言われるイノシシ肉を使い調理しました。このようなものから得た情報をもとにキウイを使った焼肉のたれを開発し、商品化をめざし活動することができました。焼き肉のたれは関市未来プロジェクトとして認められ実際に JA めぐみのと焼き肉まるちゃんに協力してもらい実現できるようにしました。今まだ活動途中で、これからもっと地域のために活動していきたいです。





今回は、1 年 5 組 5 班のフィールドワークの報告をします。

◇ 私たち 5 班はスターバックスを訪問しました

研究テーマ：フェアトレード

日 時：2019 年 8 月 6 日(火) 10:00 ~ 12:00 (←訪問時間を入力)

訪問先：(正式名称)スターバックス関マーゴ店

参加者：石井晶 加藤倫太郎 鯉江啄誠 高橋愛未 長尾昇真 古川陽菜

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



フェアトレード商品はすべてのものになれるわけではなく、いくつかの項目、基準をクリアしているかつ、発展途上国などにいる立場の弱い生産者や労働者が作った商品が認定されているということを知りました。

スターバックスでは、C.A.F.E プラクティスという方針をとっていて、フェアトレードのコーヒー生産者のかかわりを大切にしていることが分かりました。知名度がとても低かったので、パンフレットを用いてもっと多くの人々に知ってもらえるように情報拡散を積極的に行っていきたいです。



◇ 私たち 6 班は関市立図書館・美濃加茂中央図書館を訪問しました

研究テーマ：LGBTについて

日 時：2019 年 8 月 17 日(土) 9:00 ~ 16:00

訪問先：関市立図書館・美濃加茂中央図書館

参加者：瀬瀬菜月、後藤怜央、白木淳心、田口琴音、西部宏介、吉田華菜

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



関市と美濃加茂市では、LGBT 認知度に大きな差があることがわかった。

関市では LGBT 理解を普及させるために小中学校でパンフレットの配布や講演会を設けるなどしている。幼少期からの認知が差別解消につながるのではないかと。LGBT の方々は不幸なのではなく、人生を楽しんでいる。LGBT の方々が、より暮らしやすい社会を作るため、LGBT 認知の普及に努める必要がある。そこで私た

ちはこの課題を達成するためパンフレットと漫画を作成した。

